

# 高齢者あんしん相談センター大塚だより

## 第15号



### 高齢者の交通事故防止対策について

交通安全意識の浸透や自動車の安全性能の向上などにより、交通事故による死者数は年々減少傾向にある一方で、65歳以上の高齢者が占める割合は年々高くなっています。

平成24年の1年間に交通事故で亡くなった方は約4,400人。そのうち、65歳以上が約半数となっており過去最悪の割合を占めています。

また、高齢者の交通事故のうち約半数は自宅から半径500メートル以内という身近な場所で起こっています。最近ではカーナビなどの普及によって、道幅の狭い生活道路でも抜け道として利用する車も増えているため、「慣れている道だから」「今まで危ないことはなかったから」という油断は禁物です。

#### (1) 交通ルールを厳守！

#### (2) 自分の運動能力や身体機能の変化を認識し、ゆとりを持って行動を！

年を取るにつれ、若い頃と比べて運動能力や身体機能が低下します（「以前は5秒で道路を渡れたのに、今は10秒もかかる」など）。こうした変化を自覚して、無理をせず安全な歩行を心がけましょう。

#### (3) 道路の横断や、交差点の通行時には十分に安全確認を！

《情報元：政府広報オンラインより》

### 交通事故に遭わないために！

- 遠回りでも、**横断歩道**や**歩道橋**を利用しましょう
- 青信号が**点滅**したら無理をしないで、  
次の信号まで待ちましょう
- 夜間は、目立つ服装に**反射材**等を身に付けましょう



## 高齢ドライバーの交通安全について

最近の報道にもあるように、高齢運転者による交通事故が増加しています。

高齢ドライバーによる死亡事故の主な原因として、アクセルとブレーキの踏み間違いなどの「運転操作」や、「安全不確認」があります。

ほかにも警察庁によると、重大事故につながる高速道路での逆走は、7割以上が高齢ドライバーとなっています（平成22年8月～平成24年9月までの2年間）。

### ● 高齢運転者相談窓口 ●

#### 各警察署交通課、運転免許本部、各試験場の相談窓口

運転に不安を感じている高齢運転者、又はその家族の皆さんに適切な助言・指導をしています。また警視庁では、高齢運転者を対象に「シルバードライバース安全運転教室」を開催しています。

### ● シルバードライバース安全教室

#### ■ 対象

東京都内に居住又は、勤務している方  
65歳以上のドライバー（運転経歴は不問。初心者の方、長年運転をされている方可。）

#### ■ 開催場所及び申込み

#### 交通安全教育センター

電話：03-3417-1171

所在地：東京都世田谷区喜多見1丁目1番7号

※留意事項を確認の上、要事前申込み。詳細は、交通安全教育センターにご確認ください。

受付時間：午前9時から午後5時まで（注）月曜日は休所日です。

《情報発信元》 警視庁 交通安全教育センター



**高齢者あんしん相談センター**（地域包括支援センター）は、地域の高齢者の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防の必要な援助などを行い、高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として文京区が設置しています。

### 高齢者あんしん相談センター大塚

住所：文京区大塚4-50-1

電話：03(3941)9678

Fax：03(3941)9716

◎相談受付時間◎

平日 午前9:00～午後7:00

土日祝 午前9:00～午後5:30

### 高齢者あんしん相談センター大塚分室

住所：文京区音羽1-15-12

東急ドエルアルス音羽1階D号

電話：03(6304)1093

Fax：03(6304)1094

◎相談受付時間◎

月～土曜 午前9:00～午後5:30

《日曜・祝日・年末年始》お休み